

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

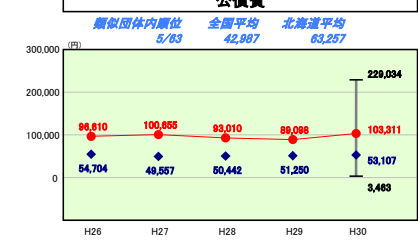
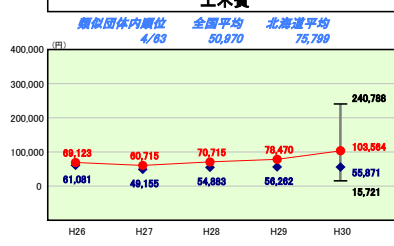
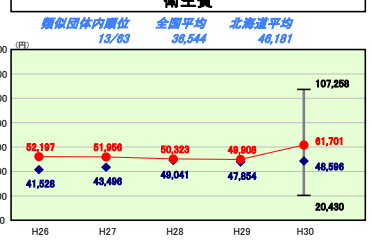
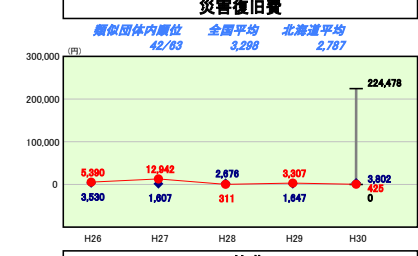
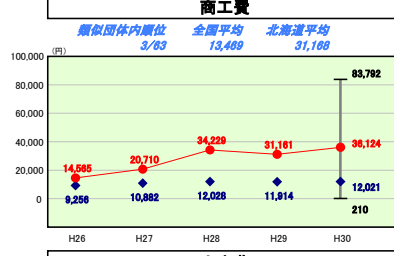
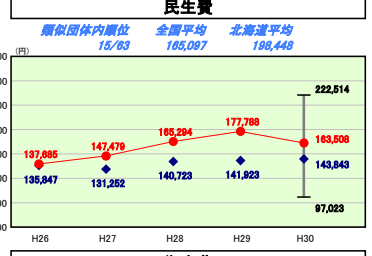
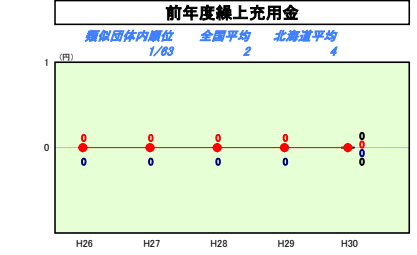
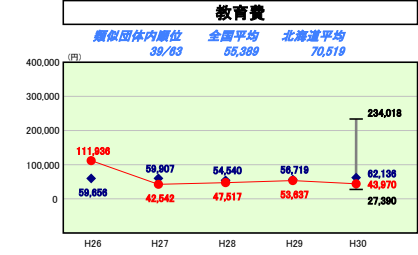
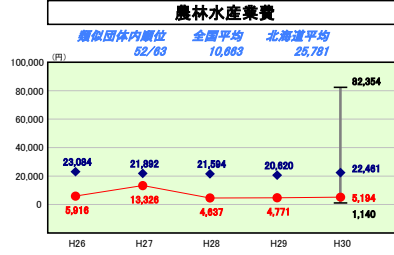
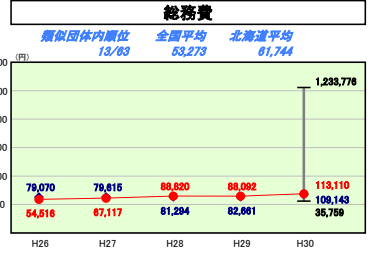
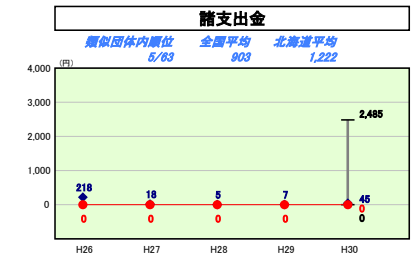
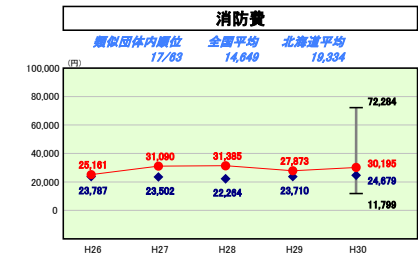
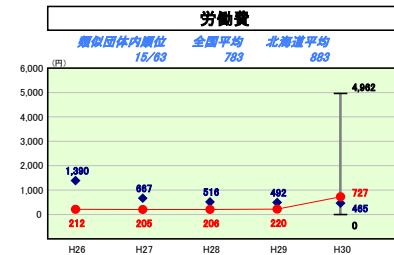
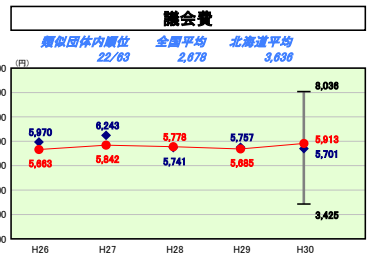
平成30年度

北海道白老町

人口	16,981人(981.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	16,816人(981.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	425.64km <sup>2</sup>	実質公債費比率	14.9	%	
歳入総額	11,982,456千円	将来負担比率	68.3	%	
歳出総額	11,338,937千円	市町村類型	H26 IV-2	H27 IV-2	H28 IV-2
実質収支	643,519千円	(年度毎)	H29 IV-2	H30 IV-2	
標準財政規模	6,195,282千円				
地方債現在高	10,232,783千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 目的別歳出の分析値

民生費については、象徴空間周辺整備に関する事業費の減により、平成29年度と比べ減となっている。  
 民生費については、年々増加傾向であるがその要因として、各種社会保障経費に加え、認定こども園等運営経費が増加している。今後も社会保障関係経費等に係る経費の増加が予想されるため、より一層の適正な事業執行及び上昇率の抑制に努めたい。  
 商工費については、ふるさと納税の増加により返礼品発送に係る経費が増えたことが原因、北海道平均を大きく上回っている要因である。今後も増加する可能性を持つ科目であり、過度な事業執行とならぬよう注視したい。  
 土木費については、象徴空間整備に係る経費の増による。H30以降も大型事業を控えており今後も増加傾向となることが見込まれる。その他には、公共下水道事業特別会計繰出金が増となっている。